

各 位

会社名	タカラバイオ株式会社 (コード番号 4974 東証プライム)
本社所在地	滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
代表者	代表取締役社長 仲尾 功 一
問合せ先	執行役員広報・IR部担当 掛見 卓也
TEL	(077) 565-6970
URL	https://www.takara-bio.co.jp/

業績予想の修正および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2022年5月12日に公表した業績予想および2023年3月期の期末配当予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2023年3月期通期 連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	55,300	15,000	15,100	10,600	88 03
今回発表予想 (B)	77,800	19,000	19,100	13,800	114 60
増減額 (B-A)	22,500	4,000	4,000	3,200	-
増減率 (%)	40.7	26.7	26.5	30.2	-
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	67,699	28,902	28,459	19,849	164 84

(2) 修正の理由

売上高は、受託が前回発表予想を下回るものの、試薬、機器、遺伝子医療が前回発表予想を上回る見込みです。特に、試薬は一般研究用試薬、新型コロナウイルス検査関連試薬がともに前回発表予想を上回る見込みです。増収により売上総利益が増益となることから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても前回発表予想を上回る見込みとなりました。このため、通期の連結業績予想を修正するものであります。

なお、今回発表の予想の詳細につきましては、本日公表の「2023年3月期第2四半期決算短信」の11ページとあわせてご覧ください。

2. 配当予想の修正

(1) 配当予想の修正内容

基準日	1株あたり配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2022年5月12日公表)		33円00銭	33円00銭
今回修正予想		40円00銭	40円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2022年3月期)	0円00銭	33円00銭	33円00銭

(2) 修正の理由

当社は、バイオ産業支援・遺伝子医療の各事業における研究開発活動を積極的に実施していくため、内部留保の充実に意を用いつつ、株主の皆様への利益還元についても重要な経営課題と位置づけ、経営成績および財政状態を総合的に勘案して利益還元を実施していくことを基本方針としております。具体的には、連結財務諸表における特別損益を加味せずに算出された想定当期純利益の30%台後半を目途として剰余金の配当を行う方針であります。

前述の通期連結業績予想数値の上方修正および上記の株主還元方針に基づき、2023年3月期における期末配当予想を1株当たり33円00銭から40円00銭に修正いたします。

なお、2023年3月期の期末配当金につきましては、2023年6月開催予定の第21回定時株主総会に付議する予定であります。

以 上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。